

## 平成 27 年度第 1 回「三番瀬専門家会議」結果概要

### 1 概 要

- ・日 時 平成 27 年 9 月 4 日（金）午後 5 時から午後 6 時 45 分まで
- ・場 所 千葉県国際総合水泳場 会議室（習志野市）
- ・出席委員 5 名（岡安委員、古川委員、箕輪委員、村上委員、柴田委員）
- ・議事「三番瀬自然環境調査」について出席委員から助言をいただいた。その他、「干潟的環境形成検討事業」及び「市川市塩浜護岸改修工事に係るモニタリング調査」について報告した。

### 2 主な意見等

#### ① 三番瀬自然環境調査

<平成 26 年度鳥類個体数経年調査結果>

- ・平成 24 年度以降の調査は同時刻に行っているため、三番瀬海域の個体数が把握できる半面、個々の地点での評価（調査時に鳥がいない場合、本当に来なくなったのか、他の地点に集まっていたため、この時刻にいなかったのか）の解釈が難しくなることから、経年の比較の際には注意が必要である。
- ・オオソリハシシギ、キョウジョシギは数十羽、百羽単位ではほとんど記録されていないので、最終報告のときに理由を付記した方がよい。
- ・行徳湿地で記録されたウミウについて、三番瀬では非常にまれな鳥なため、傷病鳥として保護された鳥かどうか確認し、調査数から外すことも検討すること。

<平成 26 年度底生生物及び海域環境調査結果>

- ・底生生物の個体数及び湿重量について、以前と比較して少なくなっているのは明らかのため、理由を付記した方がよい。
- ・アサリについては、三番瀬以外からの新しい個体群が加入している可能性があるため、その点も考慮した方がよいのではないかと。
- ・青潮の影響と貧酸素の影響は分けて考えること。
- ・6 月に青潮、7 月に貧酸素水塊が発生していることから、5 月から 8 月の調査の影響について留意すること。
- ・アサリのへい死個体数が多い地点 9 は、アサリがもともと多く分布していなかったことから、アサリの死貝が集まりやすかった場所の可能性はある。
- ・青潮発生時のアサリの生息密度の変化について、調査エリアごとにまとめた方がよい。（横山委員事前意見）
- ・総合解析では、類似度指数を考察することが望ましい。また、平成 23 年度の深浅測量は、震災の影響を受けているため、直近の深浅測量のデータがあるのが望ましい。（横山委員事前意見）

② 干潟的環境形成検討事業

- ・施設の評価になっているが、親水機能として人が触れ合えるという点、例えばアクセス性、施設から何が見えるのかなどの視点が、この評価には抜けているのではないか。
- ・評価結果のまとめについて、水質浄化量などの良好と不良の値を比較すると、評価項目ごとの差が大きいため、どの項目に重点を置くかを考えるときに注意すること。

③ 市川市塩浜護岸改修工事に係るモニタリング調査

- ・マガキの被度のデータは、平成18年からあるので、検証に使った波高等のデータを過去4カ年に限定しない方が、より説得力が出る。(横山委員事前意見)

# 平成27年度第1回「三番瀬ミーティング」結果概要

## 1 概要

- ・日時 平成27年11月14日（土）午後2時から午後4時30分まで
- ・場所 浦安市中央公民館 4階 大集会室
- ・第一部では、首都大学東京准教授 横山 勝英氏（三番瀬専門家会議委員）に、「川と海における土砂移動と生態系のつながり」について講演していただいた。
- ・第二部では、県から「干潟的環境形成検討事業」「三番瀬自然環境調査」、「ライブカメラの終了」について報告後、意見交換が行われた。

## 2 主な意見等（第二部）

### （1）干潟的環境形成検討事業について

- ・市川市のまちづくり計画が進まない中で、干潟的環境形成事業だけを進めていくということに、違和感がある。
- ・青潮対策として部分的でも効果があると思うので、ぜひやってほしい。

### （2）ラムサール条約登録について

- ・登録に向けて何が障害になっているかを明らかにして、いつまでにその障害が取れるかを明らかにしてほしい。
- ・市民の代表と漁業者などの関係者が、一堂に会して意見調整を行う懇談会のようなものを、県の主催で開いて欲しい。
- ・漁場の再生と、ラムサール登録は決して矛盾しない。泡瀬干潟などの、漁業者が登録を歓迎している例を参考にしてほしい。
- ・漁協3組合ともに、漁場の再生が先だと思っている。また、谷津干潟も登録されて結構経つが、何も良くなってないのではないかという感じがする。

### （3）青潮対策について

- ・今の漁業は、何も対策をしなければどんどん状況が悪くなる。
- ・海を埋め立て、企業を誘致し、多くの人に住むようになった結果、皆さんが豊かになった反動で、青潮の原因になっている。

### （4）自然環境調査について

- ・非常に重要なデータだと思うので、もっと間隔を狭めて調査してほしい。
- ・東日本大震災直後の地形測量だけでなく、現在の地形も調査してほしい。

### （5）第二東京湾岸道路について

- ・国交省は首都圏の道路ネットワークから第二湾岸道路を消したので、千葉県が決断すれば、第二湾岸道路は廃止することができると思う。三番瀬の開発はやめてほしい。

#### (6) 三番瀬再生の進め方について

- ・第二東京湾岸道路の建設とラムサール条約登録という、相容れないことについて、どのように調整しているのか。
- ・堂本知事は住民参加と情報公開ということを大事にしていたので、今後とも、住民参加、情報公開の原則を守ってほしい。
- ・この素晴らしい調査、解析、そして話し合いという良いサイクルを、県職員及びミーティング参加者の後押しによって、続けていってほしい。

#### (7) その他

- ・東京湾のセシウム、マイクロプラスチックの問題